



事 務 連 絡

平成20年11月26日

各都道府県介護保険担当課（室）御中

厚生労働省老健局 計 画 課
振 興 課
老人保健課

介護ベッド用手すり等の重大事故に係る公表について（注意喚起）

平素より、介護保険行政の推進に、格段の御高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

福祉用具の利用に際して起こった重大製品事故については、繰り返し御連絡しているところですが、今般、標記について経済産業省が別添1のとおり公表を行うとともに、別添2のとおり、昨年6月以降同省が公表した重大製品事故うち福祉用具に係るものについて情報提供がありました。

福祉用具の使用に際しては、利用者の心身の状況や生活環境等に応じた選定がなされた上で、利用者が適切に使用するよう、継続的な使用状況の確認等、安全性を確保する措置を講じていくことが重要です。

福祉用具は、介護保険給付の対象種目としての使用、介護保険施設等の設備、備品としての使用等、様々な使用状況が想定されますが、いずれの状況においてもこれらの福祉用具が適切に使用され事故等の発生が防止されますよう御理解・御協力いただくとともに、貴都道府県関連部局内、貴管内市町村、関係団体、事業者及び利用者等に幅広く情報提供いただくようお願いいたします。

平成20年11月21日
経 済 産 業 省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5件
(うち石油給湯機2件、石油給湯機付ふろがま1件、
ガスこんろ(都市ガス用)1件、石油ストーブ(開放式)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 7件
(うち照明器具1件、振動ベルト1件、電気スタンド1件、電気冷蔵庫1件、
エアコン(室外機)1件、介護ベッド用手すり1件、食器乾燥機1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち電気衣類乾燥機1件、水槽用ポンプ1件、電気剪定機1件、
延長コード1件、自転車1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 1件
(うち塗料1件)

※詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) ヤーマン株式会社が輸入した振動ベルト(管理番号A200800581)

① 事象及び再発防止策について

ヤーマン株式会社が輸入し、株式会社ディノスが販売した美容・痩身用の振動ベルトにおいて、2つの本体を接続する中継ケーブルの差し込みプラグが完全に差し込まれていない状態で使用されると、本来接続されるべきでない端子間に短絡を起

こし、本来流れる微弱な電流より強い電流が流れたと思われる重大製品事故が1件（その他に、非重大製品事故は10件）発生しました。

このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、購入者にダイレクトメールで通知するとともに（通信販売のため購入者は全て把握されている。）、同社ホームページ上で注意喚起を行うこととしました。

②対象機種等

製品名：メガシェイク
対象機種：MK-208
対象台数：3,700台
販売時期：2008年7月～8月

③事業者の対応

中継ケーブルをプラグの端子の配列を短絡の起こらないように変更したものと無償交換する。

④事業者の告知

- ・ホームページへのリコール情報の掲載：11月21日（金）予定
- ・顧客へのダイレクトメールの送付

⑤消費者への注意喚起

当該製品をお持ちになっている方は、使用を中止していただき、下記の問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

（ヤーマン株式会社の問い合わせ先）

電話番号：0120-776-282
受付時間：9:00～17:00（日・祝日を除く）
ホームページ：<http://www.ya-man.com/>

(2) 株式会社オーム電機が輸入した電気スタンド（管理番号A200800825）

①事故の概要及び再発防止策について

株式会社オーム電機が輸入・販売した電気スタンドにおいて、製造事業者が製品の一部に設計仕様外の部品（トランジスタ）を使用したため、当該部品が故障した際に、非可燃性の抵抗に過電流が流れ、製品が焼損する事故が発生しました。

このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成20年11月6日に新聞社告を掲載して、注意喚起を行うとともに、対象製品の無償回収（代替品への交換または代金の返金）を実施しています。

②対象機種等

機種・型式	対象製造番号	対象(販売)台数
OAL-27N	6017203~6039187	19,338
OAL-27N-AG		2,640
KAL-27	6003188~6008971	5,784
ODS-27S	6012001~6049136	18,000
ODS-27S-AG		8,094
KDS-27N-AG	6013641~6022606	1,236
KDS-27N-BK		7,440
合 計		62,532

※ ただし、対象機種・型式の製品で、平成20年2月以前に修理を実施した製品は、製造番号に限らず全て回収対象です。

③消費者への注意喚起

当該製品をお持ちになっている方は、使用を中止していただき、下記の問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

(株式会社オーム電機の問い合わせ先)

電話番号：0120-963-006

受付時間：9：00～17：30（日・祝日を除く）

ただし、土曜日は17：00まで

ホームページ：<http://www.ohm-electric.co.jp/>

(3) 石油給湯機のリングの劣化による事故

(株式会社ノーリツが製造した石油給湯機（管理番号A200800827）)

①事象及び事故再発防止策について

株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現TOTO株式会社）及び長州産業株式会社が製造した石油直圧式給湯機（石油給湯機付ふろがま、石油給湯機）において、制御弁セットに使用されているリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火し、器具焼損に至る可能性があります。

このため、製造事業者である上記3社では、(株)ノーリツ、東陶機器(株)（現TOTO株式会社）が平成14年10月から、長州産業(株)が平成17年1月から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度各社それぞれ新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を呼びかけています。

また、リコール開始後も未改修品での事故が継続しているため、上記3社及び社団法人ガス石油機器工業会では、平成20年11月25日以降順次新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をご使用の消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼びかけることとしました。

さらに、各社においては新聞折り込みチラシの配布などを行い、改修促進を図っています。

プレス発表：平成20年11月21日（金）予定

新聞広告掲載日：11月25日（火） 読売新聞（北海道、東京）

11月26日（水） 北海道新聞、東奥新聞、岩手日報
河北新報、秋田魁新報、山形新聞、
福島民報

11月28日（金） 読売新聞（北陸、名古屋、大阪、九州）

12月以降、各新聞社に掲載予定

なお、石油給湯機及び石油給湯機付きふろがまについては、経年劣化による事故の防止を図るため、平成21年4月1日から開始する「長期使用製品安全点検制度」の該当製品となっております。

②各社の対象製品について

(i) 株式会社ノーリツ

・対象製品

会社名	ブランド	製品名	該当製造年月日
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302 * / OTQ-303 * / OTQ-305 * OTQ-403 * / OTQ-405 * / OQB-302 * OQB-305 * / OQB-403 * / OQB405 *	97年(平成9年) 3月から01年(平成13年)3月まで
高木産業(株)	パーパス	AX-400ZRD	
<日立化成工業(株)> (株)日立ハウステック	—	HO-350 * / HO-360 * / HO-450 * KZO-460 *	

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

・改修対象台数 180,900台

・改修率 96.5% (平成20年10月31日現在)

(株式会社ノーリツの問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-018-170

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く）

ホームページ：<http://www.noritz.co.jp/index.html>

(株式会社日立ハウステックの問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-551-654

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時30分（土・日・祝日）

ホームページ：<http://www.hitachi-ht.com/>

(高木産業株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-575-399

受付時間：9時～19時（平日）

ホームページ：<http://www.purpose.co.jp/index.html>

(ii) 東陶ユプロ株式会社（現TOTO株式会社）

・対象製品

会社名	ブランド	製品名	該当製造年月日
東陶機器(株) (現TOTO(株))	TOTO	RPE32K*/RPE40K*/RPE41K* RPH32K*/RPH40K*/RPH41K*	95年(平成7年) 8月から
長州産業(株)	CIC	PDF-321V/PDF-401A/PDF-411D-A DX-411D/PDX-321V/PDX-411D	99年(平成11年) 6月まで
ネポン(株)	NEPON	URA320/URA320S URB320/URB320S UR320/UR320S/UR404S	
高木産業(株)	パーパス	TP-BS320*D(但し、TP-BS320は除く) TP-BS402*D/TP-BSQ402*	

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

・改修対象台数 189,944台

・改修率 82.3%（平成20年10月31日現在）

(TOTO株式会社の問い合わせ先)

TOTO(株)、長州産業(株)、ネポン(株)ブランドの製品

フリーダイヤル：0120-444-309

受付時間：9時～18時（平日）

ホームページ：<http://www.toto.co.jp/>

(高木産業株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-575-399

受付時間：9時～19時（平日）

ホームページ：<http://www.purpose.co.jp/index.html>

(長州産業株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-652-963

受付時間：8時～19時（平日）

ホームページ：www.choshu.co.jp/

(iii) 長州産業株式会社

・対象製品

会社名	ブランド	製品名	該当製造年月日
長州産業(株)	CIC	PDX-403D/DX-403D PDF-403D/DF-403D DX-403DF	96年(平成8年)5月 から99年(平成11 年)10月まで
(株)ワカサ	ワカサ	WBF-400C	
東京ツチヤ販売(株)	ツチヤ	AX-402A/EX-403A FK-405A/FC-406A	

- ・改修対象台数 3,420台
- ・改修率 76.9% (平成20年10月31日現在)

(長州産業株式会社の問い合わせ先)

長州産業(株)、(株)ワカサ、東京ツチヤ販売(株)の製品

フリーダイヤル：0120-652-963

受付時間：8時～19時(平日)

ホームページ：<http://www.choshu.co.jp/>

③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちになっている方で、まだ製造事業者等の行う改修を受けておられない方は、上記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。

(4) 株式会社富士通ゼネラルが製造した電気冷蔵庫 (管理番号A200800833)

①事象及び再発防止策について

株式会社富士通ゼネラルが製造・販売した電気冷蔵庫において、食品汁等が電装部へ流れ込むことにより、コネクタ部でトラッキングが生じ、火災に至った事故が発生しました。

このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成17年9月2日、平成18年6月2日及び平成18年11月7日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について、無償改修を実施しています。

②対象機種等

機種	販売期間	対象台数(台)
ER-F43KA	平成6年11月～平成9年3月	5,000
ER-D427M		4,600
ER-F43MA		33,350
ER-M42J1		4,050

ER-42MSU		950
ER-F43KB	平成8年4月～平成10年3月	6,500
ER-M436ALG		650
ER-S428M		450
ER-F43MB		17,600
ER-M43JB		1,400
ER-F39MB	平成7年10月～平成10年3月	17,500
ER-M396AL		700
ER-F35MB	平成8年6月～平成10年3月	24,600
ER-M35JB		1,900
ER-F35MC	平成9年4月～平成11年3月	41,300
ER-D359M		4,800
ER-M35JC		3,200
ER-F35MD		8,790
ER-D350M	平成10年4月～平成12年3月	1,700
ER-V43KD	平成10年5月～平成12年3月	2,858
ER-D420V		800
ER-V38KG	平成13年5月～平成15年3月	15,200
合 計		197,898

改修対象台数 197,898台
改修率 34.1% (平成20年10月31日現在)

③消費者への注意喚起

対象製品をお持ちになっている方で、まだ事業者の行う改修を受けておられない方は、下記フリーダイヤルに速やかにご連絡ください。

(株式会社富士通ゼネラルの問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-623-667

受付時間：9:00～18:00 (土・日・祝日を除く)

(5)パラマウントベッド株式会社製介護ベッド用手すり (管理番号A200800837)

①消費者への注意喚起

パラマウントベッド株式会社製の介護ベッド用手すりにおいて、固定レバー部に

衣服の襟が引っかかり、窒息状態となり、その後死亡した事故が発生しました。本来ロック状態とする固定レバーがロック解除の状態のままになっており、衣服が引っかかりやすくなっていたためと考えられます。

介護ベッド用手すりにおいては、過去から製品の隙間に身体の一部を挟み込む、衣服の引っ掛かり等により首を圧迫する等の重大な事故が発生しております。製品の性質上、全てのリスクをゼロにすることは困難な状況です。同様の製品をご使用の方々及びご使用者を介護するの方々には、取扱説明書、製品の注意表示、製造事業者及び業界団体のホームページに記載されている注意事項を今一度、ご確認いただき、製品に関するリスクを認識し、正しくご使用ください。当該製品にもアームを固定して利用するよう注意書きがなされておりました。

また、製品の使用の際に、不具合や不安等がある場合には、製造事業者又は販売事業者等にご相談ください。

なお、日本福祉用具・生活支援用具協会及び医療・介護ベッド安全普及協議会において、介護ベッドのサイドレール・手すり等による事故等についての注意喚起に関する呼びかけを行っております。

(日本福祉用具・生活支援用具協会のホームページ)

URL : <http://www.jaspa.gr.jp/>

(医療・介護ベッド安全普及協議会のホームページ)

URL : http://www.v-net.co.jp/bed-anzen/n_bed-anzen_index.html

(6) 塗料の染み込んだウエス（ぼろ布）の発火事故について（管理番号A200800831）

①事故の概要

ひまわり油等の酸化しやすい不飽和脂肪酸を主成分とする塗料を使用して塗装作業後に塗料の拭き取りに使用したウエス（ぼろ布）を物置に放置していたところ、発火して、物置と周辺物が燃えた火災事故が発生しました。当該塗料に含まれる不飽和脂肪酸は、酸化して発熱する性質があり、塗料の染み込んだウエスを適切に処理せずに放置すると、酸化熱が蓄熱して発火に至るおそれがあります。

②消費者への注意喚起

塗料缶の外面には、下記内容の注意事項が表示されています。ご使用に際しては、これらの点に注意してください。

・自然発火の注意

塗料が染み込んだ布やウエスは自然発火の恐れがあります。使用したウエスは、必ず焼却するか、水の入った容器に入れて処理してください。

・取り扱いに際して製品の注意表示や取扱説明書を必ず読み、注意事項に従って処理を行ってください。

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、服部、豊島

電話：03-3501-1707(直通)